

ショウゼット サファイアコート®

160工法 / 143工法

上水施設用

日本水道協会規格「JWWA K 160:2014」適合
日本水道協会規格「JWWA K 143:2017」浸出試験適合
厚生省令第15号「水道施設に技術的基準を定める省令」適合

人にやさしく
環境にもやさしく
高品質を

株式会社レゾナック建材の使命

人間の生活に欠かすことのできない「水」の供給と安全性を守ること
で
住みよい環境づくりを支えます。

それにより安全・安心・快適な住環境と社会環境、地球環境づくりに
貢献したいと考えております。

株式会社レゾナック建材は防食材だけでなくモルタル製品も製造しており、
改修時の断面修復から防食被覆までお任せいただくことにより、
工事に関わる全ての方に対して安心と信頼をお届け致します。



ショウゼット サファイアコート®

ショウゼットサファイアコート®は水性エマルジョンです。
水性なので作業員の安全はもちろん環境にもやさしい製品です。
また、一液型製品で吹付け施工に対応しているので施工性に優れています。
人にも環境にもやさしく施工性に優れた水道施設用防食材です。

製品特徴

規格適合

日本水道協会規格
JWWA K 160:2014・
JWWA K 143:2017(浸出試験)に
適合しています。

厚生省令第15号に
適合しています。

安全性

水性で有機溶剤を含まないので、
かぶれや引火燃焼及び中毒の
危険がありません。

環境対応型

VOC・環境ホルモン物質を
含まない材料です。

作業環境に配慮した
安心・安全な材料です。

伸縮性能

伸縮性があり、
微細なクラックに追従します。

施工的特徴

吹付け工法対応

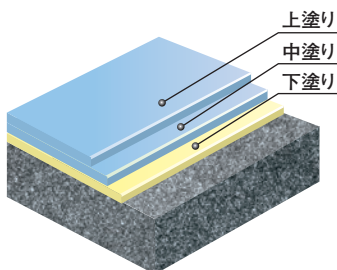
コテ塗りだけでなく
吹付け工法に対応しており、
施工の少人数・省力化を実現します。

一液型製品

中塗り・上塗りは現場で混練りの
必要がないため
混練不足(混合不良)による不具合が
ありません。

ショウゼットサファイアコート® 160工法

日本水道協会規格JWWA K 160適合
厚生労働省令第15号適合



※色は便宜上の使い分けであり、製品の色とは異なります。

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	硬化後設計厚
下塗り	ショウゼットサファイアコート® +ショウゼットサファイアコート®160 専用骨材	0.6	金コテ等	0.8mm以上
中塗り	ショウゼットサファイアコート®	0.6	金コテ・吹付け	
上塗り	ショウゼットサファイアコート®	0.6	金コテ・吹付け	

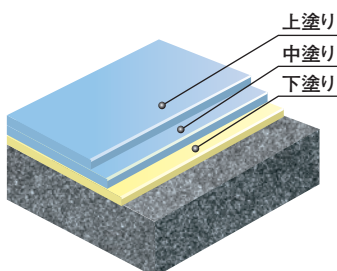
※改修工事の場合は断面修復材としてショウワ薄付JW・ショウワ厚付JWを推奨いたします。

※下地コンクリートの状況により、下塗りの塗布量が増えることがあります。

※下地コンクリートの状況により、ショウワJWプライマー（厚生省令第15号適合）をお使いください。

ショウゼットサファイアコート® 143工法

日本水道協会規格JWWA K 143(浸出試験)適合
厚生労働省令第15号適合



※色は便宜上の使い分けであり、製品の色とは異なります。

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	硬化後設計厚
下塗り	ショウゼットサファイアコート® +ショウゼットサファイアコート®143 専用骨材	0.4	金コテ等	0.5mm以上
中塗り	ショウゼットサファイアコート®	0.4	金コテ・吹付け	
上塗り	ショウゼットサファイアコート®	0.4	金コテ・吹付け	

※改修工事の場合は断面修復材としてショウワ薄付JW・ショウワ厚付JWを推奨いたします。

※下地コンクリートの状況により、下塗りの塗布量が増えることがあります。

※下地コンクリートの状況により、ショウワJWプライマー（厚生省令第15号適合）をお使いください。

性状

品名	ショウゼットサファイアコート®	ショウゼットサファイアコート® +160専用骨材		ショウゼットサファイアコート® +143専用骨材	
主成分	アクリルエマルジョン ／無機フィラー	アクリルエマルジョン ／無機フィラー	特殊骨材	アクリルエマルジョン ／無機フィラー	特殊骨材
配合比(重量比)	—	5 : 1		5 : 1	
液比重	1.32	1.26		1.33	
硬化物比重(25℃ g/cm ³)	1.47	1.38		1.44	
外観(色調)	ブルー	ブルー	—	ブルー	—
荷姿	15kg／缶	15kg／缶	3kg／袋	15kg／缶	3kg／袋

品質規格

JWWA K 160の物性

項 目		JWWA K 160 品質規格	試験結果
物性	付着強さMPa	標準状態1.5 以上	2.1
		吸水状態1.2 以上	2.4
	耐衝撃性	割れ又は剥がれがない。	異常なし
	耐アルカリ性	膨れ、割れ又は剥がれがない。	異常なし
	透水性g	透水量0.2 以下	0.0
	塩素イオン透過度mg/cm ² ・日	1.0 × 10 ⁻³ 以下	1.0×10 ⁻³
	低温・高温繰返し性	亀裂、割れ又は剥がれやすい。	異常なし
	ひび割れ追従性mm	0.8 以上	3.6
	外 観	塗りむら、流れ、はじき又は割れがない。	異常なし
	破断時の伸び率%	100 以上	277

JWWA品質・水質規格適合

JWWA K 160 品質・水質規格

試験結果報告書

試験項目: JWWA K 160 品質・水質規格

試験結果: 合格

試験結果報告書

試験項目: JWWA K 160 品質・水質規格

試験結果: 合格

試験結果報告書

試験項目: JWWA K 160 品質・水質規格

試験結果: 合格

JWWA K 143 水質規格

試験結果報告書

試験項目: JWWA K 143 水質規格

試験結果: 合格

厚生労働省令第15号水質基準適合

ショウゼットサファイアコート®

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

ショウワ薄付JW

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

ショウワ厚付JW

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

試験結果報告書

試験項目: 厚生労働省令第15号水質基準

試験結果: 合格

施工方法

〔1〕下地コンクリート処理

新 設

①下地処理

打設後のコンクリート躯体表面の段差・目違い・凹凸部・ピンホール等を平滑にするために下地処理を行ってください。

その他下地処理が必要な場合は適切な処置を施し表面を平滑にしてください。

(施工要領書参照)

プライマー

（ショウワJWプライマー3倍液を刷毛またはローラーで均一に塗布してください。）

改 修

①劣化部除去

超高压洗浄やサンダーケレン等にて既存塗膜やコンクリート躯体劣化部・脆弱部除去を行ってください。除去後は漏水等がないか確認してください。

②塗り付け

断面修復モルタルで所定の厚みまで塗り付けてください。

（ショウワ薄付JW・ショウワ厚付JWを推奨いたします。）

プライマー

（ショウワJWプライマー3倍液を刷毛またはローラーで均一に塗布してください。）

〔2〕下塗り

①混練

ショウゼットサファイアコートと専用骨材を容器に入れ攪拌機等を使い3分間攪拌する。

[配合比] 樹脂5：骨材1



②塗布

下地コンクリートに異常がないことを確認しながら、金コテ等を使い塗りむら、ピンホールがないように均一に塗布します。



[3] 中塗り・上塗り

[4] 完了

① 塗布

吹付け機や金コテを使用し塗りむら・ピンホールのないように均等に塗布します。



① 養生

適切な温度や湿度管理を行ってください。

施工完了後の供用開始までの養生期間の目安

温度	養生期間(概算)
10℃	14日間
20℃	7日間
30℃	7日間

※温度以外にも湿度や風通し、養生環境によって異なります。

② 塗膜の洗浄

「水道維持管理指針:2006 7.8.3 消毒」(日本水道協会)を参考に塗膜の洗浄を行ってください。

※詳しくは施工要領書をご参照ください。

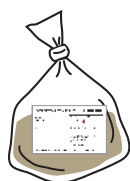
荷姿



ショウゼットサファイアコート®
160専用骨材

ショウゼット
サファイアコート®

15kg/缶



ショウゼットサファイアコート®
143専用骨材

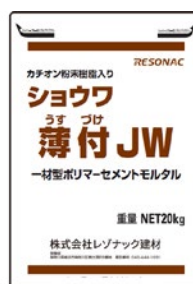
3kg/袋



ショウワ
JWプライマー

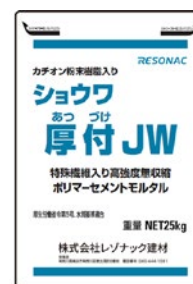
18kg/缶

(標準施工面積:360m²)



ショウワ薄付JW

20kg/袋



ショウワ厚付JW

25kg/袋

	ショウワ薄付JW	ショウワ厚付JW
標準塗付可能厚さ	1~2mm	3mm以上
標準練り上がり量	13リットル	13リットル

注意事項

〈施工上の注意〉

- ①気温が5℃以下、35℃以上、湿度が85%以上の場合は作業を中止するか、環境改善処置を行った上で施工してください。
- ②施工については各工法の標準施工要領書をご参照ください。
- ③塗膜は投光器等の明かりにより変色する可能性があります、性能に問題はありません。

〈塗膜の洗浄〉

養生後に、「水道維持管理指針:2006 7.8.3消毒」(日本水道協会)に基づき塗膜の洗浄を行ってください。
洗浄が不十分な場合、水槽からの排水が泡立つ可能性があるので十分に洗浄してからご使用ください。

〈応急措置〉

- ①吸入した場合
蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受けてください。
- ②皮膚に付着した場合
付着した衣服、靴を脱ぎ付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄してください。
- ③眼に入った場合
清浄な水で15分以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。
- ④飲み込んだ場合
水で口の中を洗い、直ちに医師の手当を受けてください。
- ⑤応急措置をする者の保護
状況に応じて適切な保護具を着用してください。

〈火災時の措置〉

- ①消火剤
粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素消火薬剤、砂、霧状水を用いてください。
- ②使ってはならない消火剤
棒状水は、火災を拡大し危険な場合があります。使用しないでください。
- ③特有の危険有害性
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがあります。
- ④特有の消火方法
初期の火災には、粉末、二酸化炭素、などを用いてください。大規模な火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効です。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却してください。移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移してください。
- ⑤消火を行う者の保護
消火作業の際は空気呼吸器、化学用保護衣を着用してください。

〈漏出時の措置〉

- ①人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行ってください。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止してください。処理作業の際には、保護具(ゴム手袋、保護めがね、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにしてください。風上から作業し、風下の人を退避させてください。着火した場合に備えて、消火用機材を準備してください。多量の場合は、人を安全に退避させてください。
- ②環境に対する注意事項
漏出物が河川等に流入するように注意してください。河川等へ流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡してください。悪臭等の発生のため、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行ってください。
- ③回収、中和
少量の場合、乾燥砂、おがくず、布等で拭き取り、密閉できる容器に回収してください。後で廃棄処理してください。多量の場合は、流路を毛布、土嚢等でせき止め、バキューム等で回収してください。

④封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止めてください。
漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は、接地させてください。

⑤二次災害の防止策

付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備してください。

〈取扱い及び保管上の注意〉

①取扱い

作業場の換気を十分に行ってください。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用してください。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをしてください。

②保管

技術的な対策:
保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ってください。保管場所は、屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないうください。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造にしてください。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造にするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ適当なため枘(ます)を設けてください。保管場所には、取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けてください。

保管条件:

凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管してください。保管時の温度は5℃以下及び40℃以上にならないようにしてください。使用後は、皮張り、腐敗防止のため、密閉して速やかに使用してください。
安全な容器包装材料:消防法及び国連危険物輸送規則で規定されている容器を使用してください。

〈廃棄上の注意〉

①残余廃棄物

焼却する場合、関連法規・法令を遵守してください。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理してください。

②汚染容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理してください。

〈輸送上の注意〉

①国際規則

国連番号 非該当
国連分類 非該当
容器等級 非該当

②特別の安全対策

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

詳細は安全データシート(SDS)取扱説明書を参照するか、下記営業所にお問い合わせください。

このカタログの記載内容は'23.1月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

株式会社レゾナック建材

■本社・営業部

〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
https://rkc.resonac.com/dobokuzai_kp/

【■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】

■仙台営業所

■名古屋営業所

■大阪営業所

■福岡営業所

■関東SCMセンター

■東北SCMセンター

■中部SCMセンター

■関西SCMセンター

〒983-0841

〒460-0008

〒532-0011

〒810-0001

〒120-0024

〒983-0034

〒452-0837

〒567-0058

仙台市宮城野区原町3-7-14

名古屋市中区栄3-11-23

大阪市淀川区西中島6-5-3

福岡市中央区天神4-1-1

足立区千住関屋町1-4

仙台市宮城野区扇町1-7-2

名古屋市中区西区十方町172

茨木市西豊川町14-3

TEL (022) 742-5077

TEL (052) 249-3151

TEL (06) 6100-2202

TEL (092) 737-5061

TEL (03) 3881-5001

TEL (022) 231-2070

TEL (052) 501-2421

TEL (072) 641-6399

FAX (022) 291-1911

FAX (052) 249-3152

FAX (06) 6100-1232

FAX (092) 737-5062

FAX (03) 3870-3952

FAX (022) 231-2073

FAX (052) 501-2424

FAX (072) 641-6401